



長野市公文書館便り

●発行日：平成26年(2014年)1月15日

●発行：長野市公文書館

©NaganoCityArchives

未曾有の大震災から復興へ

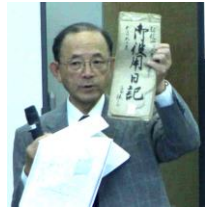
平成25年10月18日開催

長野市公文書館講演会

「善光寺地震と町・村」

講師：鬼頭 康之氏

(前長野市公文書館専門主事)



弘化4年(1847)、長野県北部で巨大地震発生。その時、被災した人々はどのように対処し、震災から復興していったのでしょうか——。善光寺地震に遭遇した町や村の様子を豊富な資料をもとにお話いただきました。

冒頭、表題の「町・村」とは善光寺町、更級郡戸部村(川中島町御厨)のことで、当時の善光寺領の範囲や知行高、実際に統治していた松代藩との関係について説明がありました。そして鎌倉時代の一遍上人の絵図や各時代の資料から本堂移転など善光寺の変遷を紹介し、善光寺を中心に善光寺八町と町続き地、合わせて人口約1万人の都市へと発展したことを話されました。

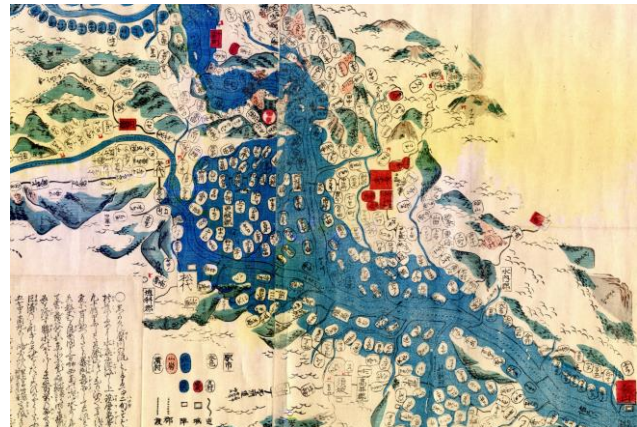
次いで善光寺地震発生時の時代背景におよび、天保の大飢饉による凶作と米価の高騰によって社会不安が高まり、盗難や捨て子が増えたこと等に触れ、その対策として松代藩の改革の様子を紹介されました。

善光寺地震はこのような不景気な時代に発生したもので、山崩れによって犀川にできた天然ダムの崩壊による川中島一帯の被害、火災による家屋焼失、水害など二重三重の被害について、今に残る絵図や文献、遺物から災害の状況を詳しく話されました。

最後に震災後の町民・村民による相互扶助、亡くな



講演会の様子。当日は84名の方が熱心に聴講された。



地震後の水害の様子を描いた「弘化丁未信濃国大地震山川崩潰之図」(資料番号 古-91-6)



松代地震センターから移管された善光寺地震に関する資料の一部

った人々に対する鎮魂、そして復興の有様を具体的な例を引いて紹介。戸部村では食糧確保や稲苗を融通しあう一方、飲み水不足や代かき馬の遅れ、盗難、また悪化する衛生問題に対する施療施薬、流出物の後始末など様ざまな課題がありました。村では非常御困い穀の払い下げや拝借金等を願い出る一方、藩では村々の状況を幕府へ何度も報告して救済金の交渉を進め、村民の救済にあたったと結ばれました。

パネル展も同時開催しました

10月11日から20日まで城山分室において、「今に伝える善光寺地震～その2～」と題したパネル展も開催。善光寺地震の発生や被害状況、現在も残っている災害の爪跡等を写真パネルで紹介しました。



講演会とあわせて開催したパネル展

栄村文化財保全活動に参加しました

地域史料保全有志の会は、2011年に長野県下水内郡栄村で発生した大震災をきっかけに、震災後の旧宅・土蔵等の取り壊しに際し、民具・古文書の救助・保全を行っています。12月20日から栄村役場において地域史料保全有志の会による第30回文化財保全活動が行われ(～23日)、当館職員1人がボランティアとして参加しました。今回は救出した古文書の目録作成や栄村民と「歴史と文化の拠点施設」に関する打ち合わせ等を行いました。



第30回文化財保全活動が行われた栄村役場。当日は県内外含め18名がボランティアとして参加した。



筆筒の中から見つかった古文書の一部。どこから運ばれたものかわかるように、1点ごとに番号札がつけられる。

新たに公開した史料です

- ・長野市役所非現用文書 (市役所文書 201点)
- ・信級村役場文書(信州新町) (旧役場文書 113点)
- ・日原村役場文書(信州新町) (旧役場文書 258点)
- ・牧郷村役場文書(信州新町) (旧役場文書 315点)



「長野北新都市開発整備事業関係文書」(資料番号 市H25-32)

この文書には、平成5年、長野市北部と豊野町にまたがる丘陵地の複合型都市開発を目的として、整備事業の概要や新都市事業と農業との土地利用の調整についての協議などが含まれている。

長野市公文書館

所在地 長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内(〒380-0801)
電話 026-232-8050 FAX 026-232-8051
HP http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/
又は 長野市公文書館 で検索
開館時間 午前9時～午後5時(閲覧申込みは午後4時30分まで)
休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・年末年始(12月29日～1月3日)

日々は文書 ～スタッフ通信～



アーカイブズ研修Ⅲ 9月30日～10月11日、11月11～22日
国立公文書館で開催されたアーカイブズ研修Ⅲに当館職員1人が参加しました。

文献資料保存活用講習会 10月24、25日
長野県立歴史館で開催された文献資料保存活用講習会に当館職員5人が参加しました。

小田切公民館成人学級の見学・学習会 10月30日
小田切公民館の方々27名が当館施設を見学しました。また、当館所蔵資料を用いて小田切地区に関する学習会も行われました。

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会 11月14、15日
学習院大学で開催された全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会に当館職員1人が参加しました。

坂城町文化財保護審議委員の視察 11月26日
坂城町文化財保護審議委員6名が当館施設を視察しました。将来、坂城町で公文書館機能を持つ施設を設立する際の参考にしたいとの事です。



当館所蔵資料を用いて行われた小田切公民館成人学級の皆さんの学習会の様子



専門主事の案内で当館施設を視察する坂城町文化財保護審議委員

「市誌研究ながの」第21号 平成26年3月発行予定

今号では、平成25年度長野市公文書館講演会「善光寺地震と町・村」の内容、「善光寺と戸隠寺の関係めぐって」、「松代藩月割上納制の初期についての一考察」、「歌人四賀光子の生涯」等、歴史・建築・自然等に関する論文を掲載しました。ご希望の方は当館までお問い合わせ下さい。



既刊第1～20号も好評発売中

こんなときにはご相談ください。

- ・古い土蔵などを取り壊すので、所蔵資料を寄贈・寄託したい。
- ・所蔵資料の保存・活用を図り、後世に伝えたい。